

服用に際しては、この説明文書を必ずお読みください。
また必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

ひきはじめのかぜに
さむけ、発熱、頭痛、肩こり

葛根湯

カ ッ コ ン ト ウ

エキス錠A「コタロー」(満量)

商品番号

A069

エキス錠A

本剤は、かぜや肩こりなどの漢方薬として用いられる処方です。

葛根湯エキス錠A「コタロー」(満量)は、食欲はあるが、体がゾクゾクして寒気がしたり、熱が出て汗が出ない、頭痛があり肩や首筋がこったり、ふしぶしが痛い、といったかぜに効果があります。

また、かぜに関係なく肩こりや筋肉痛にも用いられます。



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- (4)胃腸の弱い人。
- (5)発汗傾向の著しい人。
- (6)高齢者。
- (7)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8)次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
- (9)次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位(感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5~6回)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【効能・効果】

体力中等度以上のものの次の諸症：

感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

【用法・用量】

食前又は食間に服用してください。

食間とは……食後2～3時間を指します。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人（15歳以上）	4錠	3回
15歳未満 5歳以上	2錠	
5歳未満	服用しないでください	

〈用法・用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

【成分・分量】

成分・分量（本剤12錠中）			
カッコン	4.0g	シャクヤク	2.0g
マオウ	3.0g	カンゾウ	2.0g
タイソウ	3.0g	ショウキョウ	1.0g
ケイヒ	2.0g		

より抽出した葛根湯エキス散4.40gを含有しています。

添加物として含水二酸化ケイ素、クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、タルク、トウモロコシデンプン、ヒプロメロース、カラメル、カルナウバロウ、サラシミツロウを含有しています。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。

（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）

- (4)ぬれた手や湿気を帯びた手で取り扱わないでください。水分は錠剤の色や形が変わる原因になります。

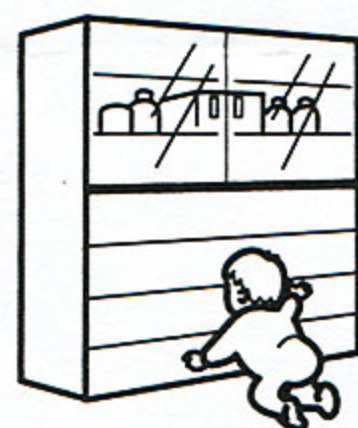
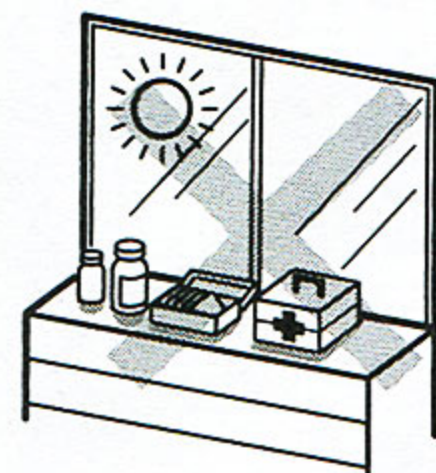
- (5)瓶のフタのしめ方が不十分な場合、湿気等の影響で錠剤の品質が変わることがありますので、服用のつどフタをよくしめてください。

- (6)瓶の中の詰め物は、フタをあけた後はすててください。

（詰め物は、輸送中に錠剤が破損することを防ぐためのものですので、再使用されると異物の混入や湿気により品質が変わる原因になることがあります）

- (7)使用期限を過ぎた商品は服用しないでください。

- (8)箱と瓶の「開封年月日」記入欄に、瓶を開封した日付を記入してください。



湿気注意

商品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願い申し上げます。
小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部 お客様相談室
大阪市北区中津2丁目5番23号 TEL06(6371)9106
受付時間 9:00～17:30(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<https://www.pmda.go.jp/>
フリーダイヤル0120(149)931

製造販売元 漢方をよりよく より多くの人に



小太郎漢方製薬株式会社

〒531-0071 大阪市北区中津2丁目5番23号
TEL 06 (6371) 9106